

認 定 書

国 住 指 第 1 7 2 4 号
平成 30 年 9 月 21 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0941
2. 認定をした構造方法等の名称
植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 _{+0.5} 以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	2000.0 _{+200.0} 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様						
表面化粧材	<p>植物系繊維混紡織物壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ5.0_{+0.5} mm以下 ・ 質量2000.0_{+200.0} g/m²以下(有機質量200.0_{+20.0}g/m²以下) ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> [1] 化粧：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量1730.0_{+173.0} g/m² (固形量) 以下 (有機質量25.0_{+2.5}g/m²以下) <ul style="list-style-type: none"> (1) 合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、有機質系添加剤^{※2}、有機質系顔料^{※3} <p>…20.0_{+2.0}以下</p> (但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は <p>16.0_{+1.6} 以下とする)</p> 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤^{※4} <p>…0～1705.0_{+170.5}</p> (2) 撥水剤：①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ①パラフィンワックスの水系乳化体 ②フッ素樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量5.0_{+0.5}g/m² (固形量) 以下 (有機質量5.0_{+0.5}g/m²以下) (3) なし [2] 主素材^{※5}：植物系繊維^{※6}混紡織物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ1.0_{+0.1}mm以下 ・ 質量80.0_{+80.0}g/m²以下(有機質量80.0_{+8.0}g/m²以下) ・ 組成(質量%) <table> <tr> <td>植物系繊維^{※6}</td><td>………50～100</td></tr> <tr> <td>合成樹脂繊維^{※7}</td><td>……… 0～ 30</td></tr> <tr> <td>無機質系繊維^{※8}</td><td>……… 0～ 50</td></tr> </table> 	植物系繊維 ^{※6}	………50～100	合成樹脂繊維 ^{※7}	……… 0～ 30	無機質系繊維 ^{※8}	……… 0～ 50
植物系繊維 ^{※6}	………50～100						
合成樹脂繊維 ^{※7}	……… 0～ 30						
無機質系繊維 ^{※8}	……… 0～ 50						

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 接着剤^{※5}</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量40.0 ± 4.0 g/m²(固形量)以下(有機質量30.0 ± 3.0g/m²以下) ・構成(g/m²):1)又は1)と2)の組み合わせとする <p>1)有機質:①～⑤のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①エチレン酢酸ビニル系樹脂 …30.0 ± 3.0以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 3.0$含む)</p> <p>②酢酸ビニル系樹脂 …30.0 ± 3.0以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 3.0$含む)</p> <p>③でん粉系糊 …30.0 ± 3.0以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 3.0$含む)</p> <p>④酢酸ビニル・アクリル系樹脂 …30.0 ± 3.0以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 3.0$含む)</p> <p>⑤アクリル系樹脂 …29.0 ± 2.9以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 3.0$含む)</p> <p>2)無機質 無機質系充てん剤^{※4}、無機質系添加剤^{※4} …$0 \sim 10.0 \pm 1.0$以下</p> <p>(2)なし([4]裏打材が(2)の場合に限る)</p> <p>[4]裏打材^{※9}:裏打紙</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ0.5 ± 0.05mm以下 ・質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量65.0 ± 6.5g/m²以下) ・構成(g/m²):1)又は1)と2)を組合せた仕様とする <p>1)有機質:①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機質系繊維^{※10} …65.0 ± 6.5以下 (但し、合成樹脂繊維^{※7}とその他の有機質系繊維^{※10}を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※7}15.6 ± 1.6以下とし、かつ有機質量を52.0 ± 5.2以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1, ※5}… 8.8 ± 0.9以下 有機質系繊維^{※10} … 46.0 ± 4.6以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を47.0 ± 4.7以下とする。 有機質系繊維^{※10}として合成樹脂繊維^{※7}とその他の有機繊維^{※10}を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※7}は$1.0 \pm 0.1 \sim 16.6 \pm 1.7$とする。)</p> <p>2)無機質:無機質系充てん材^{※4} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$</p> <p>(2)なし([3]接着剤が(2)の場合に限る)</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1：合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチレン系、シリコーン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2：有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボンアミド系、オキシビスベンゼンスルホニルヒドラジド系）、防かび剤、エチレングリコール、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3：有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4：無機質系材料、無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、ホウ酸亜鉛、シリカ、金属（箔、粉、糸状）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5：アゾ系、キノン系の染料、又は有機質系顔料^{※3}、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※6：植物系繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュブラ、アセテート、セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7：合成樹脂繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8：無機質系繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9：裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non wovenpaper)のいずれかとする。</p> <p>※10：有機質系繊維は、植物系繊維^{※6}、合成樹脂繊維^{※7}のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)・質量60_{+6}g/m^2(固形量)以下(有機質量60_{+6}g/m^2以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量60_{+6}g/m^2(固形量)以下(有機質量60_{+6}g/m^2以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり……………80_{+2}以上 補強剤^{※11}……………20_{+2}以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量10_{+1}g/m^2(固形量)以下(有機質量10_{+1}g/m^2以下) </div> </div> <p>2)・質量40_{+4}g/m^2(固形量)以下(有機質量40_{+4}g/m^2以下)</p> <p>・構成:[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量40_{+4}g/m^2(固形量)以下(有機質量40_{+4}g/m^2以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース……………80_{+2}以上 補強剤^{※11}……………20_{+2}以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量10_{+1}g/m^2(固形量)以下(有機質量10_{+1}g/m^2以下) </div> </div> <p>※11:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

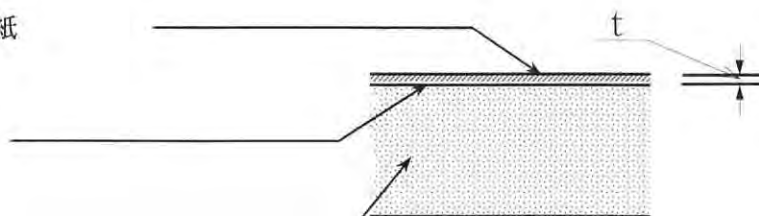
4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

1) 表面化粧材…植物系繊維混紡織物壁紙

2) 接着剤およびシーラー…合成樹脂

3) 基 材…準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)[※]



$t = 5.0$ 以下

※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの